

2017年11月17日

セコム株式会社

三菱地所株式会社

街の安全・安心機能向上を目指して

ウェアラブルカメラと移動式モニタリング拠点「オンサイトセンター」を活用した先端セキュリティシステムの運用実験を実施

11月24日に丸の内で開催されるファッションイベントにて、都市型イベントとして初めて使用

セコム株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：中山泰男）及び三菱地所株式会社（本社：東京都千代田区、社長：吉田淳一）は、三菱地所が主催する丸の内エリアのファッションイベント「MARUNOUCHI FASHION WEEK 2017」の11月24日（金）実施の一部催しにおいて、ウェアラブルカメラと、セコムが開発した新たな車両型の移動式モニタリング拠点「オンサイトセンター（移動式モニタリング拠点）」を活用したセキュリティシステムの運用実験を、都市型イベントとしては初めて実施いたします。

「オンサイトセンター」は、大規模スポーツイベントや国際会議、大規模災害の被災地などで求められるセキュリティ網の構築において、情報収集と分析、指示や連絡を機動的に行うための現地指揮拠点として、セコム独自の技術力・ノウハウをもとに開発しました。

今回は、多くの来場者が見込まれる三菱地所主催イベント「MARUNOUCHI FASHION WEEK 2017」で、警備員が装着しているウェアラブルカメラから送られる映像を「オンサイトセンター」で管理・分析し、情報収集や状況確認、現場指揮を行います。車両型の「オンサイトセンター」は、イベント会場近傍の現地指揮拠点として最適な場所に容易に設置することができるので、機動力を発揮した高度な警備が実施可能です。

丸の内エリアは、日本の金融・経済の中心地の一つであると同時に、毎年さまざまなイベントが開催されています（参考情報参照）。今後もセコムと三菱地所は、先進技術・テクノロジーを活用したセキュリティシステムを通じ、より「安全・安心」な街づくりに取り組んでいきます。

また三菱地所は、丸の内エリアの更なる機能向上を目指し、先進技術・テクノロジーを用いた実証実験を積極的に行っていきます。



オンサイトセンター

ウェアラブルカメラを
装着した警備員イベント会場
(丸ビル1階 マルキューブ)

■車両型の移動式モニタリング拠点「オンサイトセンター」の特長

1. 車両型としたことで、イベント会場など必要とされる場所に、必要な時に移動することが可能です。警備本部の立ち上げ時に必要な場所の確保、機材の準備などが不要で、機動性を活かした活動が可能です。
2. 「ウェアラブルカメラ」や「仮設カメラ」からの映像を表示するカメラ画面、スタッフやカメラの設置場所の現在地を表示するマップ卓、スタッフの状況の把握や情報のやり取りを行うスタッフ卓、それらの情報を一つの画面に統合して表示することができる情報統合卓など、最新技術を駆使した機材を搭載しています。将来的には、AIによる画像解析も組み込む予定です。
3. 収集された情報は、リアルタイムに遠隔拠点に提供可能です。イベント警備では、警備本部や救護拠点などにも情報を提供します。そこからのフィードバックを警備体制に反映するなど、さまざまなセキュリティニーズに柔軟に対応します。

<今回の運用実験概要>

- ・ 警備員が装着しているウェアラブルカメラから送られる映像を「オンサイトセンター」で管理・分析し、情報収集や状況確認、現場指揮を行います。
- ・ 車両型の「オンサイトセンター」は、イベント会場近傍の現地指揮を行うために最適な場所に設置し、機動力を発揮した高度なセキュリティを提供します。

将来的にはAIによる画像解析も組み込む予定



■三菱地所主催イベント「MARUNOUCHI FASHION WEEK 2017」

実施期間 : 2017年11月20日(月)～26日(日)
場所 : 丸ビル1階 マルキューブ、丸ビル 外構部 ほか
主催 : 三菱地所株式会社

本実験実施時間 : 2017年11月24日(金) 12:30～14:00

会場 : 丸ビル1階 マルキューブ

イベント概要 : 様々な分野で、その年最も輝いた女性を選定し、トロフィーを授与するアワードを開催。働く女性が活躍する“東京丸の内”の丸ビル1階 マルキューブにて実施いたします。

<参考情報>

・丸の内エリアの主要イベントと来場者・参加者数の実績



2005年～

ラフォルジュルネ エリアコンサート
来場者数約 50,000 人(2016 年実績)



2005年～

打ち水プロジェクト
参加人数約 2,800 人(2016 年実績)



2013年～

丸の内盆踊り
参加人数約 13,000 人(2017 年実績)



2015年～

丸の内ラジオ体操
参加人数約 1,500 人(2016 年実績)



2002年～

丸の内イルミネーション
来場者数約 670 万人(2016 年実績)



2007年～

藝大アーツ イン 丸の内
来場者数約 30,000 人(2016 年実績)



2017年～

仲通り綱引き大会
参加人数約 240 人(2017 年実績)



2016年～

丸の内スポーツフェス
参加人数約 50,000 人(2016 年実績)



2009年～

丸の内駅伝
参加人数約 500 人(2017 年実績)



2012年～

ジャパン・ハーベスト
参加人数約 15,000 人(2016 年実績)



2016年～

大手町縁日
参加人数約 8,000 人(2017 年実績)



2007年～

アートアワードトーキョー丸の内
参加人数約 22,000 人(2016 年実績)